

三河商人道

PART
163



青年部とは

色々な方と交流することで視野が広がる場所



車好きな山本英之さんは、学生時代に趣味が高じて山本タイヤ株式会社でアルバイトをしていたそうです。自動車を自分好みにカスタムするために一生懸命働き、手にした給料ですぐに自動車用品を購入、取付けしてしまうほどだったそうで、そのバイト先の娘さんとの縁談がきっかけで入社しました。仕事に対しては、「言われた通り買って良かった」と言われるようお客様目線の営業をされており、幅広く取り扱っている商品のなかでも、特に安心と安全を心掛け、スタッドレス等、季節柄増えるタイヤ交換などのアフターサービスに力を入れているようです。そのかいもあって、山本タイヤ株式会社さんでタイヤを購入されたお客様は、その後、その他の自動車用品も山本さんのお任せで注文される方が多いそうです。



また、新しい物事を取り入れる事に積極的に取り組んでおり、まだデジタルカメラが普及されていない時代にいち早く取り入れ、お客様の車とホイールを写真で合成し、イメージ画像を見せて提案し、お客様それぞれのタイヤを管理するサービスを先駆けて始めたそうで、今では 200 台分管理されており、キャンセル待ちになっているそうです。また、パソコンを使って自ら店内のポップやDMを作成し、販売促進に役立っているそうです。

その他にも、ツイッターからのお店の込み具合の配信や、工場にカメラを取付け、山本さん自身がどこへ行っても、携帯で状況を把握できるようされているようで、最新の技術を柔軟に活用して経営に取り組まれているとの事です。



青年部には以前から交友のあった歴代会長の都築利幸先輩からのお誘いがきっかけだそうで、異業種の方々と繋がりを持ちたいという考えがあり、且つ、商売優先の団体でもあったことから、入会を決めたそうです。

青年部で最も心に残っていることは、配属された委員会で多々内文雄先輩、神谷篤先輩と、「商工会議所で会議をすることをやめて、チャットで話し合いをすれば、時間を有意義に使えるのではないかと考えて、実行したそうで、委員会を開催する回数は減ったものの、ほぼ毎日のように意見を交換していた事が印象に残っているようです。

最後に「たとえ休んでいる期間があったとしても、気兼ねなく出席でき、また、商売優先で考えられるのが商工会議所青年部の良いところ、色々な方々と交流することで視野が広がり、自己の成長に繋がると思います。」とお言葉を頂きました。



取材担当/
交流委員会
浅井元一、久山博永、
辻村謙介、野々山育成、
蜂須賀大